



おはなしの

マッチ箱

私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまな花を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

10月のストーリーテリング勉強会

2013年10月9日(水) 午前9:30~12:00

主催: 高知県立図書館 参加者: 13人

場所: 高知県立図書館 児童図書研究室(子ども読書室奥)

次回の勉強会は

11月13日(水)

午前9:30~12:00

場所: 当館児童図書研究室

(子ども読書室奥)

1. さんねん峠

8分

『さんねん峠 朝鮮のむかしばなし』(李錦玉/作 朴民直/絵 岩崎書店/発行)より

【語り手から】

5~6年ぶりに引き直してみました。トルトリの優しい心配りが好きです。

2. ふるやのもり

10分

『なまくらトック(愛蔵版おはなしのろうそく2)』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

今回はお話に抑揚をつけて語ってみました。いただいたアドバイスをもとに、子どもの前でも語れるように、もっと練習します。

3. ねずみのすもう

5分

『おはなしのろうそく18』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

初めてなので緊張しましたが、いろいろな方のお話や意見がきけて、大変勉強になりました。ストーリーテリングは難しいけれど楽しそうと思えました。ありがとうございました。

4. 赤い目のドラゴン

9分

『赤い目のドラゴン』

(アストリッド・リンドグレーン/文 イロン・ヴィークランド/絵 ヤンソン由実子/訳 岩波書店/発行)より

【語り手から】

大好きな絵本の一つで、今まで読んで聞いてもらっていたのですが、今回お話でやってみて読むと話すの違いをくっきり教えられたと思います。ことばを自分の中に吸収していく過程で立ち上がってくるイメージの深さ(見えるものよりむしろ見えない心の動きや情景の空気のようなもののイメージまで含めて)に驚かされました。新発見でした。

5. お月さまの話

7分

『おはなしのろうそく25』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

聞かせてもらってウンウンと納得したのですが、いざ自分でやろうとすると私は難しく覚えにくく、自分ではイメージが切れぎれになってしまう気がして……。

6. ラプンツェル

15分

『おはなしのろうそく5』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

はじめのうちじっくりと語っていたので、途中から力を抜こうかな~とか色々考えてしまい、最後までしっかりいきませんでした。力の配分を考えたいです。

7. アリョーヌシカとイワーヌシカ

10分

『まほうの馬 ロシアのたのしいお話』

(A. トルストイ/文 M. フラートフ/文 高杉 一郎/訳 田中 泰子/訳 E・ラチョフ/絵 岩波書店/発行)より

【語り手から】

1、2年の低学年によく語っています。不思議な世界を子どもたちはよく聞いてくれるので好きなお話です。

1976年に始まったこの勉強会も、次回で37年目を迎えます。長く参加していただいている方も、新しく参加して下さる方も、この先もどうぞよろしくお願いいたします。